

# 在来線の存続発展に力を

平良木議員は、新幹線建設での県の対応への認識と、在来線の存続・発展への施策をたどりました。



平良木哲也議員

村山市長は、「新幹線建設に関する県の対応については、国と県との関係の中で賢明に判断されると考える」と、あくまでも主体は県という姿勢をとりつつ、「政府・与党合意は地元への十分な支援措置がないことから、見直しに向け沿線各県の4市長とともに、十分な支援措置を行うよう政府・与党関係者等に要望した」と答えました。

## 12月議会 一般質問

二日からの12月定例議会は、新型インフルエンザ対策などを審議し17日の本会議で閉幕しました。日本共産党議員団は今回も四人そろって一般質問を行い、市長の姿勢をたどりました。

# 国・県に臨む姿勢、公約実現の手順は

橋爪議員は、村山市長就任に当たって、「木浦市政を継承するところ、しないところは何か」「国や県に対して、どのような姿勢で臨むのか」「公約をどんな手順で実行していくのか」など、今後の村山姿勢の基本的姿勢を問いました。



橋爪法一議員

村山市長は、「施策や行政サービスについて、内容・手法を精査し、より発展的に変えていく」「国・県とは私が持つネットワークを活用して対等な立場での協力・連携を深める」「公約は、財源や上位計画との関係を整理し、3月定例会までに明らかにする」「市民の声は書面や電子メールも活用する」「ホームページは『想い』の発信も含め研究する」と答えました。

また、行政改革についての質問には、「第3次行政改革大綱の進捗状況や成果・課題を検証・把握し、新たな大綱も検討したい」とし、行政組織の課題と問題点については、「縦割り」や機動性不足の改善作業を進めていると答えました。

# 子どもとお年寄りに優しい医療を

樋口議員は、中学校卒業までの医療費無料化や75歳以上の医療費負担軽減の公約について「どのように実施するのか」を問いました。また、「学校給食甲子園での優勝の成果を広げること」、そのためにも「民間委託をやめること」を指摘しました。

村山市長は、「一気に中学校卒業まで無料にすることは困難。段階的拡充を基本に検討している」「高齢者医療は今後の国の新制度の効果に期待しながら、医療費のとらえ方の拡大を考え、軽減を検討したい」と答え、市民負担を直接軽減するものではないことを明らかにしました。

中野教育長は、「優勝は学校栄養士と調理員の日々の努力が生かされた結果」としましたが、市直営だからその成果ではないかとの指摘には、「直営で培われてきたものが確実に受け継がれ、実施されていることの実証であり、民間委託であっても優れた成果を上げることができる」とし、民間委託を擁護する答弁に終始しました。

樋口良子議員



## 上野公悦議員



# 学校給食民間委託はやめよ

上野議員は、調理業務の民間委託について、業務機器や設備等の双務契約が必要であるとした新潟労働局の見解を基に、「重要な教育活動である学校給食を、民間に委託することは避けるべきだ」とたどりました。

中野教育長は、上野議員の指摘に対し、杉並区の給食調達業務訴訟での東京地裁の判断を盾に、「専門的な業務である場合には、賃貸借契約がなるとも請負であると判断している」としました。

また、委託期間については、「複数年の継続契約で、職員の質の担保やサービスの質の維持、受託業者の経営や雇用の安定が図られるので、3年と定めている」「児童生徒や保護者へのアンケート調査でも、民間委託等であっても安全で安心できるともお願いであると判断している」としました。

次に、ものづくり振興センターの機能充実についてたどったところ、村山市長は「当初の期待を上回る効果が現れており、機能の充実に努めながら、研究開発活動への参加企業数を増やし、活動の質を高めていくことが重要であると考えている」と答えました。

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 213 2009年12月20日

- 連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)  
 樋口 良子 544-6802 (中門前3)  
 上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)  
 平良木 哲也 525-9096 (上中田)